

挿絵の秘めるパワー ～効率的に読書をしたい！～

畑本真由（兵庫県立北摂三田高等学校）

研究動機

中学まではよく読書をしていたけれど、高校に入ってから時間が取れず読書ができない、といった自分自身の経験から、効率的に読書ができる方法を調べたいと考えた。そこで、情報収集をしていた時に挿絵についての研究を見つけ興味を持ったことから、読書の効率と挿絵との関係を研究テーマとした

実験手順

- 1. 全く同じ文章で、挿絵があるものとないものの2種類を作成。
- 2 . 実験対象者を無作為に二つのグループに分け、片方のグループには挿絵有り、もう片方のグループには挿絵なしの文章を読んでもらう。
- 3. 読み終わった後文章の内容に関する質問に答えてもらい、その正答率や傾向を調べる。

仮説

挿絵があるグループのほうがよく読解ができるのではないかな。
今回の実験で使用した文章



小説「星の王子様」より抜粋

実験結果

結果を表にまとめると以下のようになりました。

	挿絵あり	挿絵なし
問1	100%	100%
問2	40%	20%
問3	100%	100%
問4	100%	80%

考察

問題ごとに詳しく見ていきます。

問1・問3 挿絵の有無による正答率の違いが見られない → 挿絵の影響はない

問2 挿絵があるグループのほうが正答率が高い → 挿絵があったほうが物語の流れを掴みやすい

問4 挿絵があるグループのほうが正答率が高い → 挿絵があったほうが登場人物の動きを掴みやすい

挿絵があれば、物語の流れや登場人物の動きなどを掴みやすい

挿絵はスムーズな読解に効果的なのではないかな

※五問目について

挿絵があるグループとないグループを比べると、前者のほうが登場人物に対してよりやわらかいイメージを抱いている、という結果に。

今後の展望

反省点

- ・問題が簡単すぎた ←正答率100%が出てしまった
- ・問題数が少なかった
- ・有名でない作品のほうがいい

↓

今後の展望

- ・引き続き実験を行い、データを集める
- ・別の作品でも実験を行う
- ・世代別やジャンル別などでの変化も調べる
- ・挿絵の有無による理解度の変化が見られなかったものはその理由を調べる

参考文献

- ・ The Science of Reading, Vol. 58, No. 2 (2016) 小説の読みに与える挿絵の影響. 立正大学図書館
田中麻己 https://www.jstage.jst.go.jp/article/sor/58/2/58_74/_pdf (参照 2024-5-29)
- ・愛媛大学教育学部紀要 第50巻 第1号 53~59 (2004) 絵本の挿絵の役割に関する研究. 酒井千尋,
佐藤公代 <https://www.ed.ehime-u.ac.jp/~kiyou/2004/pdf/07.pdf> (参照 2024-6-7)